高知県沿岸への軽石漂着に備えた港湾・漁港における軽石流入防止対策の実施について

1. 現状・課題

- \bigcirc JAMSTECのシミュレーションによると、 $12/19\sim23$ 頃に高知沖に軽石が最接近。
- 港内に軽石が流入した場合、軽石の吸い込みによる、<u>漁船や作業船等の機関故障が発生</u>。 また、船舶が係留されたまま港内に流入した場合、<u>軽石の回収作業効率が低下し、回収作業の</u> 長期化の恐れ。

2. 対応方針

○ 港口部にオイルフェンスを設置し、港内への軽石の流入を防止する(設置期間:3ヶ月を想定)

(1)対策実施港 ※詳細別図のとおり

・防災拠点港や避難港における防災機能の維持、流通・生産拠点漁港における漁業活動の早期再開、 及び離島航路や漁船等の船舶航行の早期再開のために、事前対策として、地域の核となっている港 湾・漁港等において実施

【対策実施港の考え方】

次の<u>いずれかの条件を満たす38港(港湾11、県管理漁港20、市町村管理漁港7)</u>において対策 <u>を実施</u>

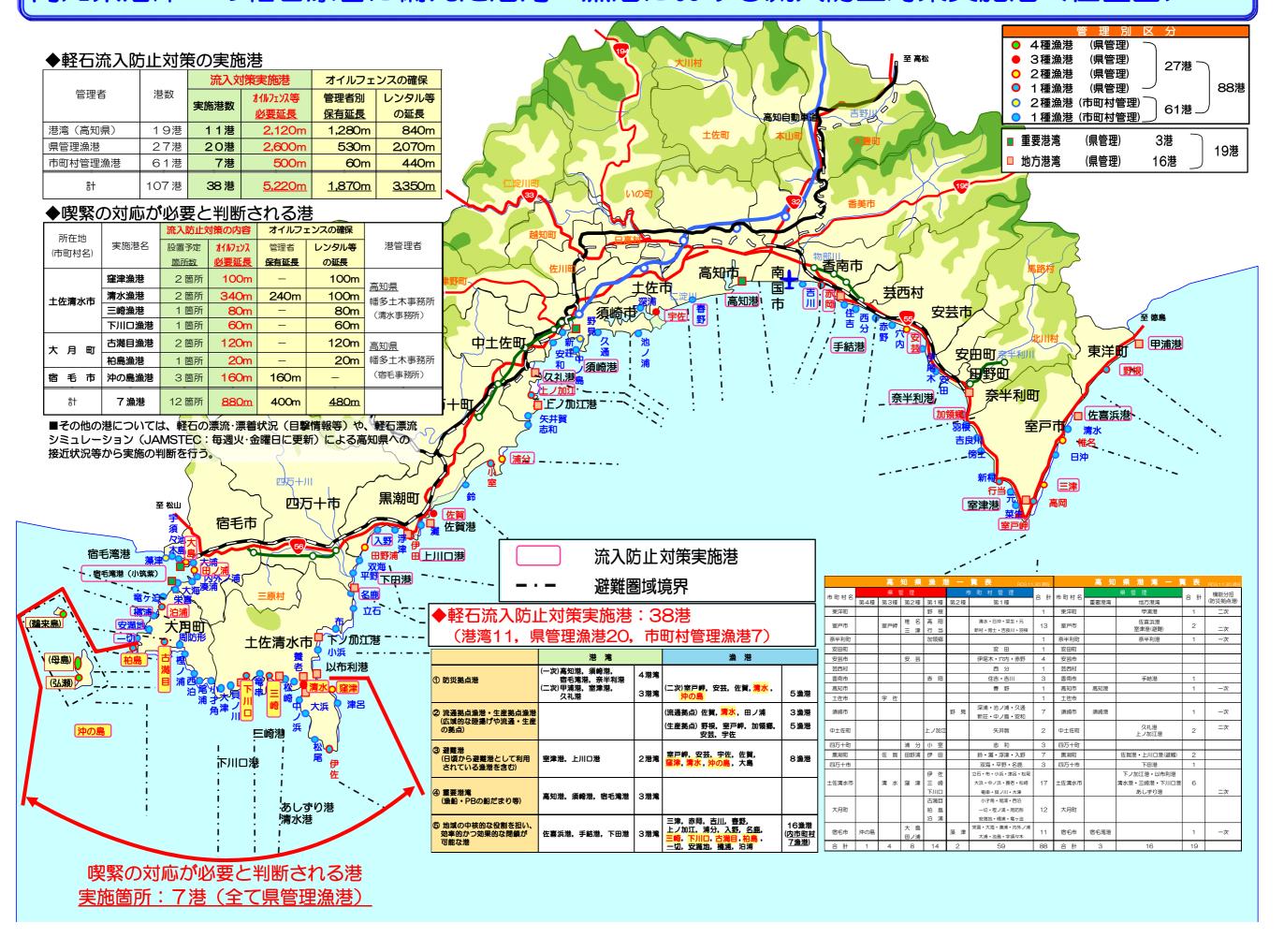
- ①防災拠点港:7港湾、5漁港
- ②流通拠点漁港・生産拠点漁港:8漁港
- ③避難港(日頃から避難港として利用されている漁港を含む):2港湾、8漁港
- ④重要港湾(漁船・PBの船だまり等):3港湾
- ⑤地域の中核的な役割を担い、効率的かつ効果的な閉鎖が可能な港: 3港湾、16漁港
- ※①~⑤の対策実施港の港口部閉鎖は、近隣の港湾・漁港の係留船舶を事前に実施港に避難させたうえで実施

(2)対策規模等

管理者	港数	流入対策実施港		オイルフェンスの確保	
		実施港数	オイルフェ以等	管理者別	レンタル等
			必要延長	<u>保有延長</u>	の延長
港湾(高知県)	19港	11港	2,120m	1,280m	840m
県管理漁港	27港	20港	2,600m	530m	2,070m
市町村管理漁港	61港	7港	500m	60m	440m
計	107港	38港	<u>5,220m</u>	<u>1,870m</u>	<u>3,350m</u>

- ■オイルフェンスの 必要延長 5,220m のうち、管理者保有分 1,870m
- ■レンタル分 3,350m については、次のとおり対応
 - 関係団体(漁協、建設協会等)からの借入720m
 - ・レンタル2,630m(納期1~3日) ※購入の場合、納期に1~2週間程度必要
- ■オイルフェンスの設置・撤去・レンタル代等 <u>総工事費 約2.8億円(設置期間:3箇月)</u> <<u>県工事分:約2.6億円(漁港1.5億円、港湾1.1億円)</u>> <<u>市町村工事分:約0.2億円</u>>

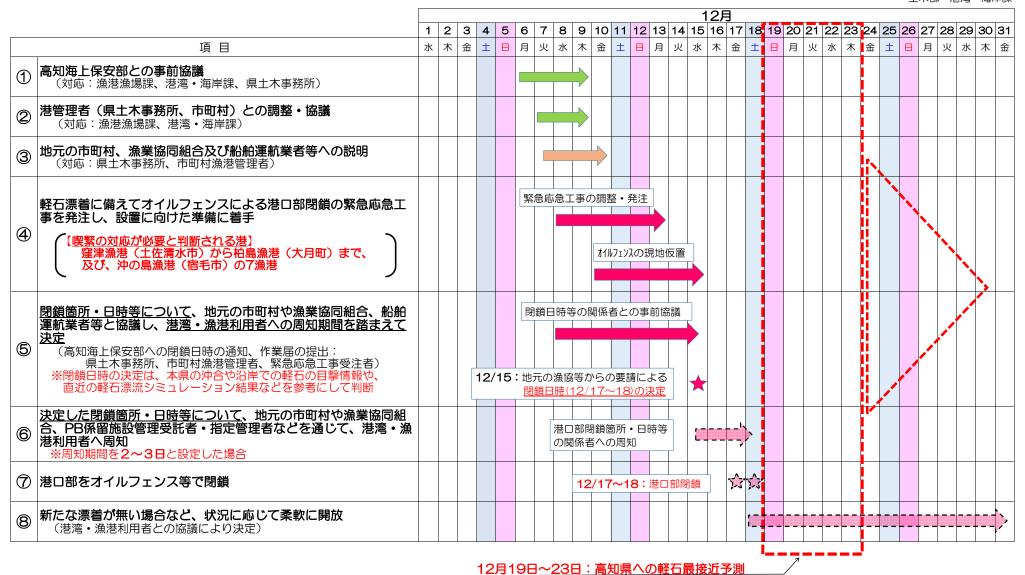
高知県沿岸への軽石漂着に備えた港湾・漁港における流入防止対策実施港く位置図>



港湾・漁港における軽石流入防止対策の実施スケジュール(案)

■【喫緊の対応が必要と判断される港(7漁港)】の港口部閉鎖予定日を12月17~18日に設定し、準備開始

令和3年12月10日現在 水産振興部 漁港漁場課 土木部 港湾・海岸課



(12月7日更新のJAMSTEC軽石漂流シミュレーションによる)